

オンライン運動会		令和2年9月26日（土）に実施
機器	タブレット，大型モニター	
使用アプリ	Zoom，YouTube	
機能等	オンライン配信，	

コロナ禍により3密を避けるため，低・中・高の学年ブロックごとに競技時間を分け，該当学年の児童だけが校庭に出て競技を行った。他の学年が競技をしている間は，教室にてモニター観戦を行った。あわせて保護者には来校を控えていただくかわりにリアルタイム配信をした。

○実施の流れと児童の様子

- ① 3台の撮影用タブレット PC と各教室のタブレット PC とを Zoom でつなぎ，中継する。
- ② 競技映像は担任が各クラスのモニターに拡大表示し，児童が観戦できるようにする。
- ③ 中継した映像は，同時に Youtube 「群大附属小チャンネル」にて，保護者に限定配信を行う。
- ④ 配信した競技映像はコメントや評価はできないよう設定した。3日間の限定公開での再生回数は，約6000回を記録した。なお，撮影用タブレット PC は，安定した Wi-Fi 接続環境が必要となるため，ポケット Wi-Fi を活用した。



＜競技の様子を撮影する教員＞



＜教室で競技を観戦する児童＞

児童は，運動会そのものの実施が危ぶまれる中，形を変えてでも実施ができることに，とても喜び，嬉しそうに競技に取り組んでいた。閉会式ではこれまでの運動会と同様に自身の団や他の団の頑張りを称える姿が見られた。最後に，Zoom を使って6年生の団長がまとめの話をし，児童が主体として取り組んだ運動会は幕を閉じた。

撮影や配信については，テストを重ねたこともあり，映像の乱れ等はなく，教室や家庭へのリアルタイム配信ができた。全校児童が同じ競技映像を見ることができたことは，児童の一体感を高めることにつながった。

また，3台分の映像の切り替え作業は，ICT 関連企業に勤める保護者に協力を依頼し，円滑に進めることができた。

○成果と今後の課題

ICT の活用によって運動会を実施できたことは，教育課程上，大きな価値があった。

児童にとっては体育授業の発表の場として日ごろの成果を発揮することができた。そして，他者と協力することの大切さを実感することができた。また，保護者にも，子どもの成長を確認し，活躍を見る貴重な機会となった。特に，競技映像のリアルタイム配信を行ったことは，普段は運動会に参加することが難しい遠方の親族等が視聴できる機会となり，好評を博した。

一方で，保護者の中からは，競技映像が粗いため自分の子どもが判別できない等の声もあった。よりよい映像配信の方法等は，今後の課題である。



＜3密を避けての開会式＞



＜映像の切り替え作業を行う保護者＞